

感染症情報 7月8日～14日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,941例	(堺市 175例)
②感染性胃腸炎	708例	(堺市 52例)
③溶連菌感染症	549例	(堺市 77例)
④ヘルパンギーナ	324例	(堺市 30例)
⑤RSウイルス感染症	206例	(堺市 13例)

府下305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 149例(堺市 16例)

報告数による順位。前週比1例減の3,956件であった。手足口病が府下で4%増、堺市で前週160例→今回175例であった。大阪府の定点あたりは9.44→9.85、堺市で8.42→9.21であった。大阪府では1ブロックを除いて警報レベル開始基準値5を超えている。感染性胃腸炎が府下で前週比9%減、堺市で前週43例→今回52例。溶連菌感染症が府下で8%減、堺市で前週73例→今回77例。ヘルパンギーナが府下で16%増、堺市で18例→30例であった(67%増)。RSウイルス感染症が府下で44%増、堺市で前週9例→今回13例(44%増)であった。

基幹定点だけが報告するが、マイコプラズマ肺炎が10週連続で10例を超えている。大阪府40→35例、堺市14→11例であった。

インフルエンザが府下で前週128例→今回149例で前週比16%増であった。堺市で前週18例→今回16例であった。

府下305医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 2,943例(堺市 375例)
大阪府定点 9.65 堺市定点 12.93

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
117	205	168	498	270	244	309	333	261	271	267	2943

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回1,951例→今回2,943例で51%増、定点あたり6.40→9.65。堺市で前週263例→今回375例は43%増、定点あたり9.07→12.93となり、大阪府のブロック別で3週続けてワーストであった。

麻疹や風疹の報告なし。